



## 本庄早稲田の杜ミュージアム

令和2年度第2回本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会における各委員からの意見等について

本庄早稲田の杜ミュージアムにおける令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について、委員から提出されたご意見と市の考え方は以下のとおりです。

令和2年度事業報告について

	提出された意見等の内容	提出された意見等に対する市の考え方
本庄市展示室	<p>展示物は質が高く、入口に市内出土の形象埴輪を据えた展示は見応えがありよかった。</p> <p>スペースが限られており、展示数は少ないがコンパクトで見やすい。展示物の見せ方は来館者の意見を参考にして、改善ができるとよい。映像や床面の遺跡分布図、柱部の解説用バナーはわかりやすくよい。</p>	<p>来館者からの質問頻繁の高い事項を参考に、柱部の解説用バナーを新たに製作しました。また、展示物の一部展示替えを予定しております。</p> <p>今後も来館者のご意見を参考にしながら、皆様により本庄の歴史や文化財の魅力が伝わる展示となるよう努めて参ります。</p>
	<p>見学にあたっては、学芸員等による展示解説があると理解が深まる。</p>	<p>学芸員等による展示解説は、来館者にとってより深く展示物について知ることができ、さらなる関心へとつながるものと認識しております。</p> <p>展示解説につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を十分とる必要があることから、ソーシャルディスタンスの確保などの対策を講じながら適宜個別に対応しております。今後につきましても、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、柔軟に展示解説を実施していきたいと考えております。</p>
	<p>子ども向けの展示として、当時の衣食住の様子がわかる絵や立体模型があると理解しやすくなる。建物の入口正面に絵や模型の展示をしてはどうか。</p>	<p>展示への理解を補助するものとして柱部に解説用バナーを掲出しております。今後、子ども向けに展示を理解するための補助資料を検討して参りたいと考え</p>

		<p>ております。</p> <p>建物の入口正面の活用につきましては、ご意見を参考にし、施設所有者である早稲田大学とも協議しながら活用について研究して参ります。</p>
早稲田大学展示室	<p>早稲田大学展示室は、普段目にすることのない世界の文化に触れることができる貴重な展示で興味深い。</p> <p>大学が所蔵している貴重な文化財を本庄市民に公開することは意義があると思う。これらの展示品に関心をもってもらえるよう、施設の特性を活かした講演会等の開催が今後の検討課題である。</p>	<p>早稲田大学展示室は、地域の方々に世界の文化財について身近に触れていただく貴重な機会と考えております。</p> <p>ミュージアムがある「早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター」は、講演会やワークショップなど様々な活動ができる施設です。令和3年度につきましては、展示と講演を結び付けた事業を実施していきたいと考えております。世界の文化財を前に、早稲田大学の学術的な知見を交えることで付加価値の高いミュージアムになると考えております。</p>
企画展	<p>本庄市、美里町、神川町、上里町、深谷市の中世資料を一括して見学できる機会はこれまでなく、よい企画であった。身近な地域の展示は地域を見る視点が変わり、興味深かった。</p>	<p>ミュージアムは本庄市のみならず、近隣地域の文化を発信する施設を目指しております。地域文化の拠点として、今後も多くの方にご来館いただけるよう事業の充実を図って参ります。</p> <p>地域連携展覧会は令和3年度も開催を予定しております。今後も継続して開催できるよう努めて参ります。</p>
教育普及	<p>ワークショップやフィールドワークなどコロナ禍の中で非常によく実施されている。地域の歴史への興味・関心を高め、理解を深めるためには体験が大切だと思う。満足度が高く、幅広い年齢層に対応できると</p>	<p>ワークショップやフィールドワークなどは、体験を通して、地域の歴史を知り関心を持っていただくきっかけになると考えております。</p> <p>感染防止対策を徹底し、来館者のニーズを把握しな</p>

	思うので、今後とも積極的に実施してほしい。	がら今後も継続して開催して参ります。
学校連携	学校からの見学が実施できてよかったが、実施校数を増やしていけるように、各校への周知や社会科見学・遠足等のコースに入れてもらえるように働きかけが必要である。 中学校の見学が実施できるとよい。	学校団体の見学につきましては、見学用バスの活用も含めまして、引き続き働きかけを行って参ります。また、学校ごとにミュージアムでの学習に対する要望に応えられるよう努めて参ります。 中学校の見学につきましても、学校のニーズを把握するとともに来館に向けた働きかけを行って参ります。
その他	子ども用の踏み台の購入は対応が早く、改善されよかった。	今後も来館者のご意見等も参考にしながら展示環境の改善に努めて参ります。
	全ての来館者に展示解説できないため、コーナーごとにイヤホンで説明が聞ける設備ができないか。	コーナーごとにイヤホンで説明が聞ける設備につきましては、来館者の多様なニーズに応え、さらに新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも有効な設備ですので、ご意見を参考にさせていただきます。なお、令和3年度にワイヤレスガイドシステム（解説者の音声を複数の見学者に伝達できる送受信機）の調達を予定しております。まずは、ワイヤレスガイドシステムを活用しながら、来館者の皆様にとってミュージアムでの時間がより有意義なものになるよう調査研究して参ります。

令和3年度事業計画について

	提出された意見等の内容	提出された意見等に対する市の考え方
全般	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも様々な企画が計画されており、これらが計画通りに実施されることを期待したい。</p>	<p>令和2年度と同様に感染防止対策を徹底しながら、参加者の皆様にとってミュージアムでの時間がより有意義なものになるよう計画して参ります。</p>
	<p>ミュージアムは、本庄市と早稲田大学の共同運営だが、展示のなかで本庄市と早稲田大学の連携の形がみえるようになるとうい。今後は、共同運営をしているメリットを打ち出して、事業展開する必要がある。</p>	<p>本庄市と早稲田大学とが連携した事業を実施していくことがミュージアムの魅力であると考えております。</p> <p>早稲田大学展示室企画展「世界をつなぐやきもの-陶磁器、遙かなる旅路。」では、世界各地の展示品に交え、本庄市をはじめとする周辺地域の文化財を展示するなど連携を行っております。</p> <p>今後につきましても、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、早稲田大学の学術的な知見を交えた講演会や展示、ワークショップなど積極的に多面的な連携を図り、より魅力的な事業が実施できるよう努めて参ります。</p>
	<p>ミュージアムが市民にとってより身近になるような企画をたててほしい。</p>	<p>まずは市民の皆様がミュージアムに来館するきっかけとなるよう、魅力的な企画展やご家族で楽しめるワークショップの開催、市民総合大学などの各種団体との連携を図って参ります。来館者が地域の文化財や歴史を、より身近に、より生き生きと感じられるものとなるよう事業の充実を図って参ります。</p>
早稲田大学展示室	<p>會津八一記念博物館の巡回展だけではなく、大学が</p>	<p>貴重なご意見として承ります。ご意見を参考に早稲</p>

	所蔵している展示品をセレクトして展示するのも良いのではないか。	田大学と協議して参ります。
企画展	リピーターを獲得していくためには企画展を開催する必要がある。 ミニ企画展が予定されているが、2～3年程度の期間の中で企画するとよい。	リピーターの獲得や事業の充実を図るためには、企画展の開催が効果的であると認識しております。なお、令和3年度につきましては地域連携展、ミニ企画展を予定しておりますが、令和4年度の開催予定の企画展の準備も進めております。今後ご意見を参考に計画的に開催して参ります。
	中山道関係の資料は旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペースに展示されているが、本庄は中山道の宿場町であり近世資料への関心高い。本庄の歴史を通覧できる施設として近世の企画展を開催してほしい。また、塙保己一没後200周年にあたり、スタンプラリーのみでなく企画展示を行ってほしい。	貴重なご意見として承ります。 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペースは、引き続き中山道に関連する資料の展示を行って参ります。 ミュージアムでは常設展示のみならず、企画展示や各種事業を組み合わせるなど工夫して、本市の歴史を通覧できる場としての役割を果たして参りたいと考えております。 塙保己一没後200周年事業との連携につきましては、塙保己一記念館及び早稲田大学と調整して参ります。
教育普及	教育普及事業が充実しており良い。ワークショップの充実が子どもたちの来館につながると思うので、引き続き、工夫・充実していけるとよいと思う。	ワークショップなどの体験活動は、子どもたちの関心を高める貴重な機会と考えております。令和2年度に開催したまが玉製作のワークショップでは、製作するだけではなく、まが玉の製作意図や石材の流通、当時の製作技術など学びを交えながら実施してきました。関心を持った子どもたちがより興味を深
	教育普及活動においても早稲田大学と連携した取り組みができるとうよい。	
	埴輪づくりは野焼きできるとよい。	

	展示と連動した史跡めぐりや講座が開催できるとよい。	められることが重要であると考えております。今後につきましては、早稲田大学と連携しながら、来館や郷土の歴史に関心をもつきっかけとなるよう、ニーズを把握し、改善を図りながら実施して参ります。
学校連携	学校団体が見学できるよう計画を立ててほしい	見学用バスの活用も含めまして、調整を図って参ります。
	学校への出前授業等が実施できるとよい。	学校との連携を図りながら、実施に向けて検討して参ります。

本庄早稲田の杜  
HONTO-WASEDA NO MORI MUSEUM  
ミュージアム